

令和5年度中野市観光振興審議会 会議録

日時 令和5年12月27日（木）午後1時25分～午後2時50分
会場 中野市役所52会議室
出席者 （委員）7名
平井義高、小林豊、武田明良、鈴木清美、中島源、竹内徳良、中村佐和子
（事務局）4名
経済部長、商工観光課長、観光交流係2名

1 開 会

（観光交流係）

本日は年末のご多用のところ、ご参集いただきありがとうございます。
これより、令和5年度中野市観光振興審議会を開会いたします。
本日進行を担当します、商工観光課の遠藤と申します。
よろしくお願いいたします。
それでは、開会にあたりまして、太田経済部長より、あいさつを申し上げます。

2 あいさつ

（経済部長）

本日は、年末の大変ご多用のなか、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

皆様には、日頃から市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、観光行政をめぐる状況は、新型コロナウイルスも5類に移行され、流れが活発化しており、また外国からの観光客も多くなってきております。

また、コロナ禍を経て人々のライフスタイルも個性化・多様化が一層進んでおり、単に観光地を巡るだけでなく、テーマや目的を明確にし、自分好みのスタイルで旅行を楽しむというような方が増えてきております。

本市では、大型宿泊施設がオープンいたしまして、コロナ前に実施していたイベントを復活させ、また、アフターコロナを見据えた対策として各種補助金の創設など、魅力ある中野市づくりのため、様々な施策を実施しているところであります。

また現在、本市出身の作曲家であります中山晋平先生の生涯を描く映画「歌こそすべて～中山晋平・歌と愛の生涯」が、神山征二郎監督のもと主演が三田寛子さんの御長男であります中村橋之助さんにより撮影されております。また、来年の秋には上映の予定と聞いております。中野市を全国的に知ってもらう機会であり、より一層の魅力を発信し、盛り上げていければと考えているところであります。

本審議会でございますが、観光事業、観光施設につきましてご審議をいただきたく、

皆さまにご意見をいただく場であります。そのようなことで先日委嘱を申し上げさせていただきました。

本日は、ご意見をいただきまして、中野市の観光事業についてご協議いただきますようよろしくお願いいたします。

3 自己紹介

(観光交流係)

会議に先立ちまして、当審議会であります。本市の観光事業の発展を図るため設置しておりますが、この度、観光施設のあり方についてご協議いただくため、審議会の開催に向け、先般、皆さまに委員の選出をさせていただいた次第であります。皆様には令和5年11月20日から2年間ということで、お受けいただき感謝申し上げます。

初めての顔合わせとなっておりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。

【自己紹介】

4 報告事項

(観光交流係)

それでは「4 報告事項」ですが、現在進めております温泉施設の無償譲渡について説明いたします。

(商工観光課長) 資料に沿って説明

(観光交流係)

ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いします。

(委員)

まだらおの湯とぼんぼこの湯について、現在は別の業者で運営しているということで良いか。その業者は3月末までの運営ということですか。

(商工観光課)

来年3月までは現在の業者による運営になります。4月から譲渡先での運営になります。ぼんぼこの湯の譲渡先である(株)北志賀竜王は、現在の指定管理者と連携をしていくと聞いておりますので、運営上に関しては支障がないと考えています。

5 会長、副会長の互選について

(観光交流係)

「5 会長、副会長の互選について」ですが、中野市観光振興審議会条例第3条の規定に基づき、ここで改めて、委員の互選により「会長、副会長」を決定させていただきます。

ます。選出方法について、何かご意見ございますでしょうか。委員の皆様から、立候補
ございますでしょうか。

【発言者なし】

(観光交流係)

よろしければ、こちらからご提案させていただきたいと存じますがいかがでしょうか。

【異議なしの声】

(観光交流係)

ありがとうございます。

それでは、本会の会長を信州なかの産業・観光公社から選出の鈴木清美委員に、副
会長を中野市農業協同組合から選出の小林豊委員にお願いしたいと考えておりますが
いかがでしょうか。

【拍手多数】

(観光交流係)

それでは、本会の会長を信州なかの産業・観光公社鈴木清美委員に、副会長を中野市
農業協同組合小林豊委員に決定させていただきます。

会長、副会長は、それぞれ席のご移動をお願いいたします。

それでは、鈴木会長よりごあいさつを頂戴したいと思います。

(会長)

このたび、当審議会の会長を仰せつかりました、信州なかの産業・観光公社事務局の
鈴木でございます。

先ほどの自己紹介でも申し上げましたが、当公社は市から観光振興業務の委託を受け、
また市の施設の指定管理を受けておるところでございます。当審議会では、市の受託業
務を改善するような形になるかと思いますが、皆さまのご意見をいただいて事業展開し
て参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、皆様のご協力によりスムーズに議事が進行できますよう、お願い申し上げ
まして、ごあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

6 協議事項

(観光交流係)

それでは協議事項に入ります。

中野市観光振興審議会条例第5条において「会長が会議の議長となる」と定めていま

すので、ここからは鈴木会長の進行でお願いします。

(会長)

それでは協議事項に入ります。

「(1)中野市の観光振興及び観光施策について」、事務局より説明をお願いします。

(商工観光課長) 資料に沿って説明

(会長)

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

(委員)

先ほどの報告事項で説明がありましたが、市の施策として延べ床面積 20%削減ということではありますが、今回の無償譲渡となるぼんぽこの湯とまだらおの湯で削減できているという解釈ですか。

(商工観光課)

ご指摘の施設は面積も多く大きな施設であります。譲渡しても足りません。これまで、学校施設や保育園等を統合したりしていますが、市全体で 20%減ということになりますので、観光施設だけではなく市全体の管理施設、土地が対象ということです。

(委員)

観光客の動きという面で、100 円道路（志賀中野有料道路）はいつ無料化されるのですか。

(商工観光課)

令和 7 年 3 月と聞いております。無料化になると人の流れが変わり何か新しい展開が生まれるのではと思います。笠倉壁田橋についても来年開通ということで、それによって中野市民だけでなく飯山市、山ノ内町の方々も利用することでいろいろ展開されると考えています。

(委員)

私はしばらく県外にいまして、こちらに戻ってきたばかりですが、本来いたということで失礼を承知で発言します。

中野市の観光はどうかを私なりに考えてみましたが、間違いなく農業基幹産業。もうひとつ、観光となると、例えば小布施町、飯山市と比べると観光資源あるなしとかいう以前の話として、本当に観光振興をどういうふうに位置づけるのか、どうも中途半

端に観光振興っていうのがあって、色々な施設がありその施設にお金を投入することが本当にいいのかな、と思います。

6 ページにあります土人形関係ですが、伝統文化として必要であります土人形資料館の入館者数は半減している。どうなのか。魅力的なら今は SNS を見て行ってみようかなと思うはず。立地の良い悪いではなく、山奥でも行きたいと思えば行きます。正直に言って紙媒体ではなく SNS で見ると思います。

観光振興をどう位置づけるかというのは、この中野市という将来像の中で、農業ともう1つの柱として観光振興を位置づけるぐらい勢いのある重要な位置付けとして、市の施策として考えているのかどうか。そこから根本的にやっていけないといけないと思います。今までの繰り返しみたいな話ではいけないのではないかと。

こちらに戻ってきて思ったのは、銀座通り。あそこは電柱の地中化をしていますよね。商店街活性化の策として整備したと認識していますが、正直に言ってゴースト通り。人もいないし車も通っていない。むしろ江部から一本木バイパスへ流れてしまっている。何か銀座通りで人が集まってくる、若い人が集まってくるようなものを継続的に行えるようなものがないか、もっと極端に言えば、交通規制をして何か人が来るような。

それから、長野電鉄木島線が廃止されて今どうなっているかわかりませんが、廃線を使ったらどうか。考えようによっては、観光資源だと思うのです。

例えば、ランニングコースやサイクリングコース等、思い切って大胆な発想を、当然そこには投資もかかりますので、クラウドファンディングを使ってみたらどうかとか、発信はどんどんやってみたら良いと思います。

そのスタートとして、観光の振興というのは行政としてどのように位置づけるのかをスタートする時に議論された方がいいのかなと。とりあえずの施策として観光振興を挙げなきゃいけないからやりましょうというようだと、小布施町、飯山市、山ノ内町はアピールポイントがあるし魅力的な所があるので、中野市はただ通過するだけになってしまうと思います。発言して申し訳ないのですが正直な印象はそんな感じです。

(商工観光課)

銀座通りでは歩行者天国にして「おごっそフェア」を開催するなど各種イベントを行っていますが、それは年に1回だったり2回だったりスポット的なものですので、その時は盛り上がりながらも継続的に行っていけないといけないということで、商店街活性化として当市では、多くの人や団体に補助金を活用してもらい、若手や団体によるお店が集まったイベントなどでにぎわいが生まれていくような施策をしているところです。補助をしても、最終的にそのイベントを行った人達が真剣になって取り組んで継続することで、初めて街中のにぎわいに繋がるのではないかと取り組んでおるところです。

また市の観光の考え方ですが、新たに何かを掘り起こすというよりも、コアな情報を発信していく、ここをこうするというよりも、商店であったり考えている人が色々情報発信する中で、市としても「この観光で来て」というよりも、千曲川であったり山だったり北信濃という全体的な枠の中で、このような体験ができますとか体験的な誘客を今

後取り入れていかなければならないと、何か行う場合は継続して行うようなイベントを考えないといけないと思っています。

(委員)

例えばそれを毎月やるとか、そうすることによって自然に外部の人達、マスメディアが注目するっていうこともあります。市が発信するのも大事でしょうけど、むしろ、何かこんなことをここでやっているよ、みたいな、そういうような企画をどんどんやっていくとも必要だと思います。それで新たな観光資源というものを作っておいて、実はこれは観光資源ではないけれど、見方によっては観光資源、そんなふうにやれば面白くできるのではと、そういう視点で必要なお金をかければと。

(委員)

私は、個人的に「北信観光情報」という名称でSNSの発信をしていました。フェイスブックのフォロワーは数ヶ月でかなり増えまして、興味のある方は見てくださっているなど。「見ています」という反応が結構ありました。市でも発信されていると思いますが、私のものは小さなたたき台ですので、それを引き継いでもらうなど興味があれば取り組んでほしいと思います。

他に取り組んでいただければどうかということが1点、SNSを始めたところに、私は中野市在住ではなく、須坂市が拠点でしたけれど、当時中野の知人が結構いまして、観光はいまいちだちと多くの方が指摘していました。私はその当時そうかなあと思ったくらいでしたけど、ずっと住んでみると、去年、ウォーキングのイベントに行ってみると、豊田の方に廃校になった小学校のプールでチョウザメを飼っているという情報も聞いたのですが、そういった事も、地元の人がちょっと知っているだけなので、こういった情報も工夫して発信すれば、観光の振興だと思うのです。アピールのなところで、ちょっと失礼な言い方ですけど、あんまり上手ではないのかなという印象は持っています。

それと少し違うニーズでいきますと、SNSは全国に友達ができますからそういった人に土人形を紹介したことがあるんです。目を止めていただいたということがあるということからすると、ターゲットになりそうな気がします。私も年齢を重ねると、昔の日本的な文化のモノの良さってすごくいいなと感じていて、観光資源ではないかなと思うのです。だからもっとそういった情報というか、他の人による調査といいますか、そういうものも含めてされるといいと思います。

土人形の絵付けも、毎月やってみたいと言う人もいます。ですが、情報が少な過ぎたらどこでやっているのか、料金はいくら等、情報が届かない、届いていない場合が多分あるかと思っていますので、発信できるようところがあっていいと思いました。

(委員)

委員任期が2年ということで、認識として確認したいのですが、中野市としてこれは

正解だと思っていますが、観光事業もないし、特に観光で頑張ろうというよりは、イベントの中で関係人口を増やしたりとか、あまり観光にお金を投入したりとか、新しい施設を造ってインバウンドを入れるとかっていうよりは、今ある歴史に根差したものを大事に補充と磨き上げをして、商工会議所などこちらからうまく魅力発信していく。市の財政面もあるので、ポートフォリオの中では観光振興について特に置いてないという認識でよろしいですかね。

ただ、施設については誰かが管理しないといけないので、それは商工観光課という部署で管理するし、主としたものはないけれど観光センターはあるということで、それはむしろ魅力は磨いているけども現状で施設があるからというもので、私はむしろ農産物を外に売ったりしてPRしたり、来てもらえば広がっていくとか、イベントで来ていただいてにぎわい関係人口を増やし中野市の名前を知っていただく、というところに置いていく、というこの三つの方向でいいのかなと思います、そんな認識でよろしいでしょうか。

(商工観光課)

そうです。新たな観光を作るというよりは今あるものをうまく皆さんに知ってもらって継続していく。

あと、今言われました関係人口の創出の面で移住とか、観光という部分だけにとどまらず、今色々な魅力発信をしています。

農業もそうです。観光だけでなく、色々なものが混ざって市の施策として考えていきたいと思います。その1つのアイデアとして、観光という部分も大事な歴史文化がありますので、今ある土人形資料館なども魅力をブラッシュアップしながら運営していく。あとはイベントを開催してにぎわいを増やしていくということを考えています。

(委員)

ふるさとの森文化公園についてです。あの施設はいい資源だと思います。アーチェリー場が整備されますよね。いい目玉になると思います。全国に身体障がい者の仲間がいますが、結構アーチェリーされている人が多くて、バリアフリーもあって、以前にオリンピックの選手を呼んでイベントをしてくださいましたけど、そういったことが継続されれば良いと思いました。

(商工観光課)

今、お話のありました文化公園につきまして、実はこの観光審議会は商工観光課の管轄でやっていますが、文化公園は都市計画課の管轄となります。部も商工観光課は経済部という部ですが、都市計画課の方は建設水道部という、部からして違うような形になります。

そうは言っても、中野市の観光に資する貴重な資源でありますので、都市計画課の方で、現在、指定管理者を用いて、公園の管理をしております。内容としましては、先ほ

ど委員さんがお話になったように、使われていない芝生の広場を使いまして、アーチェリー場を設置して今後活用していただくというような形です。

その他にはご承知の通りであります。キャンプ場ですとか冒険の森ですとか昆虫館などありまして、私の記憶が正しければ、開設当初は、広域圏でお金を出し合って、設置をしたということでございます。ですので、当初は北信広域圏の方々が利用する場合は利用料無料ですとか、そういう形で広域圏で楽しめる場所をとということで設置された施設だと思えます。その後、広域圏というのではなしに中野市にあるのだからということで中野市で施設を管理するようになりまして、確かに広い意味での観光資源になりうるかなというような感じはしております。

いずれにしても商工観光課の管轄ではないといいましても、市の施設でありますので、今日いただいたご意見につきまして担当課の方に伝えて参りたいと考えております。ありがとうございます。

(会長)

他にございますか。

【発言者なし】

(会長)

協議事項としてただ今皆さんからご意見いただきましたが、今後検討するという形で良いでしょうか。

(商工観光課)

はい。

(会長)

では続きまして、協議事項「(2)観光施設のあり方検討について」、事務局より説明をお願いします。

(商工観光課長) 資料に沿って説明

(会長)

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

(委員)

観光センターの場所ですが、ご存知の通り隣はオランチェであります。あれは JA 中野市の子会社として直売所を運営しておりますが、今後の展開について隣同士でありますのでぜひ協力していきたいと思えます。

(商工観光課)

ありがとうございます。

(委員)

今、公共施設の削減の関係で説明がありましたが、この3施設について、令和8年度からなくすというわけではないという解釈ですか。

(商工観光課)

市では、令和7年度までに令和8年度以降の運営のあり方を検討してください、ということで現在検討していますので、現段階でこの3施設を削減するというものではありません。現状維持する施設もありますし、削減という施設もあります。機能と施設のあり方について検討するということになります。ただ、市としては施設の削減を主に考えているので、そんなことも視野に入れながら今後のあり方を考えていくということです。

(会長)

続きまして、協議事項「(3)温泉施設入館料について」、事務局より説明をお願いします。

(商工観光課長) 資料に沿って説明

(会長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

(委員)

もみじ荘について、露天風呂が数年前から閉鎖していると思うのですが、改装もしているけど、あまりお客がいない。以前は、回数券の利用ができたと思うんですよ。金額だけを見て上げていくのじゃなくて、運営の仕方もあるのでは。

(商工観光課)

料金だけを変えればいいというわけではなく、新たに指定管理者になる業者のアイデアだったり、ノウハウだったり、例えば、料理のメニューに関しては大幅に売り上げが変わってくると思いますし、露天風呂が上にあるという、魅力があるところですので、10回行くと1回無料になるサービス券など、そういうサービスも考えていくことも今度の指定管理者の考えになります。意見をいただいたということ、今度の指定管理者につなげていきたいと考えております。

あと、湯量とか温泉の温度などによっても燃料代がかなり変わってきますが、これに関しては昔と違いますので、加味しながら考えていくようになります。

(会長)

よろしければ協議事項についてはこれで終わります。進行をお返しします。

《進行交代》

7 その他

(観光交流係)

「7 その他」ですが、皆様から何かご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【質疑 なし】

8 閉 会

(観光交流係)

よろしければ、これで、中野市観光振興審議会を閉会します。ありがとうございました。